

★(様式A) 通常事業評価シート【R4年度実施事業(一部) / 市民環境部市民課による自己評価】

(単位: 千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	国民年金事務事業	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	老後の生活基盤である年金を確立するため、適切に国民年金事務を行う。	老後の生活基盤である年金を確立するため、適切に国民年金事務を行った。	5: 達成した	継続	1,110	28,976	30,086	年金事務所と連携を取り免除申請や納付の案内を行い無年金者となる事防ぐ。また年金機構より貸与された端末を使い適切な年金相談を行う。	年金事務所できしか出来ないことを除き、市役所窓口でもできることを増やし市民の利便性を向上する。	令和4年度には厚生年金の未支給年金は積極的に市の窓口で受け付けを行った。
2	市営葬儀運営事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	簡素かつ低廉で厳粛な葬儀及び火葬を提供するため、市営葬儀を適切に行う。	簡素かつ低廉で厳粛な市営葬儀を執行した。	5: 達成した	継続	2,904	22,871	25,775	火葬の件数は増加しているが、市営葬儀の件数は減少している。	必要がある限り、引き続き低廉で厳粛な市営葬儀を行う。	
3	斎場管理事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	斎場の施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	設備の点検・修繕等を行い、施設管理を行った。	5: 達成した	継続	40,821	3,968	44,789	斎場の老朽化により、修繕費用が高額となっている。	建替えまで日々の点検と必要最小限の修繕を行い、費用を抑えながら安定した施設管理を行う。	
4	斎場整備事業 (他課への一部予算再配当事務)	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	斎場の施設機能を保持するため、斎場の整備を行う。	事業者選定委員会において、公募型プロポーザル方式により整備運営事業者を選定し、同事業者と契約締結した。	5: 達成した	継続	247	14,326	14,573	DBO方式による事業であり、設計・建設・運営を一体的に実施していくため、スムーズな連携、将来の運営を見越した設計・建設が重要である。	設計・建設は公共建築マネジメント課が、運営は岸貝清掃施設組合が主体となって実施するが、市民課が調整役となって双方の事業をスムーズに連携させていく必要がある。	
5	住居表示事業 (他課への一部予算再配当事務)	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	わかりやすい住居の表示を市民等に提供するため、住居表示の実施及び、住居表示地区の管理と整備を行う。	下松町六丁目の住居表示を実施した。	5: 達成した	継続	5,336	8,733	14,069	町境界の決め方。	町会・自治会と協議のうえ、合意が得られたところから実施していく。	
6	市民課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	市民課の庶務全般を行った。	5: 達成した	継続	-	14,468	14,468	1人1台OA系のパソコンがいきわたっていないため、全員が電子供覧できず、効率が悪い。	OA系パソコンを効率的にシェアして運用する。	
7	支所管理事業	持続可能で信頼される行政になっている	支所の施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	施設の適切な管理を行った。	5: 達成した	継続	4,216	6,684	10,900	老朽化しており、メンテナンスを行う必要がある。	支所施設を適正に維持する。	
8	戸籍事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	国籍及び親族関係を登録し、公証するため、戸籍法に基づく事務を適切に行う。	戸籍法改正及びデジタル手続法に対応するため様々な運用管理を行った。	5: 達成した	継続	19,004	64,527	83,531	近年、戸籍法や民法改正が頻繁に行われている。国の動向を注視しつつ的確な対応が必要である。	戸籍法改正対応の本格化及び戸籍システム標準化に向けて、業務を見直していく必要がある。	
9	住民基本台帳事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	住民に関する記録を正確かつ統一に行うため、住民基本台帳法に基づく事務を適切に行う。	住民基本台帳法に基づき住民登録を行い、また、オンラインによる転出届・転入(転居)予約の体制を整えた。	5: 達成した	継続	13,701	66,201	79,902	通常の住民登録事務に加え、システム標準化に向けての調整業務が多く発生している。	令和7年度末の住民記録システム標準化に向けて、業務を見直していく必要がある。	
10	印鑑登録事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民が使用する印鑑が本人のものであることを証明するため、印鑑登録に関する事務を適切に行う。	印鑑登録事務を適切に行った。	5: 達成した	継続	410	18,012	18,422	印鑑登録原票の保管方法に苦慮している。	令和7年度末の印鑑システム標準化に向けて、業務を見直していく必要がある。	
11	支所・サービスセンター事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	市民の利便性の向上を図るため、市民の需要度の高い窓口業務を支所及びサービスセンターで実施する。	各センターとのやり取りのためのFAX入れ替えのため、3台の入札を行った。	5: 達成した	継続	2,838	1,927	4,765	市役所手続きについて様々な問い合わせを受ける。	市役所手続きについてスムーズな連携体制を維持していく。	
12	個人番号カード等管理事業	持続可能で信頼される行政になっている	社会保障・税番号制度の普及と市民の利便性向上のため、個人番号カード等の交付及び管理を行う。	個人番号カードの普及のため、市民センター、商業施設、町会等へ出張申請を行った。	3: おおむね近づいた	継続	125,409	35,754	161,163	マイナポイント事業が終了した後、カード未保有の方へどう取得していただくか、また、今後、更新手続きの増加に対する窓口の体制。	コロナが落ち着きつつあり、介護施設等カードを作りたいけど申請ができない方への対応を考えていく必要がある。	
13	旅券交付事業	持続可能で信頼される行政になっている	旅券を必要とする市民の利便性を図るため、旅券法に基づく事務を適切に行う。	旅券法に基づく事務を適切に行った。	5: 達成した	継続	13,477	11,426	24,903	パスポートの電子申請。	パスポートの電子申請に向け取り組み。	